



がんの手術にも 歯科が役立ちます



がんの手術は、たいていは全身麻酔のもと行われます。全身麻酔中は人工呼吸器で呼吸を補助します。このときお口の状態がよくないと予期せぬトラブルが起こることがあります。

歯が折れる・抜けるトラブルを防ぎます

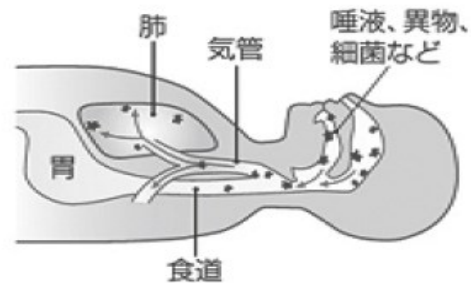
- 人工呼吸用のチューブを患者さんのお口から気管へと差し込んでいくとき、グラグラしている歯があると、それが折れたり抜けたりすることがあります。
- 折れたり抜けたりした歯が気管に入ると窒息の危険があります。
そのため、グラついている歯がある患者さんは、手術の前に歯科で歯を抜いてもらうのが安全です。



手術後の肺炎のリスクを減らします

- 気管チューブを挿し込むとき、お口の中が汚れていると、細菌が肺に入り込んで手術後に肺炎（誤嚥性肺炎）を起こしてしまうことがあります。
- 術後の回復がスムーズに進むよう、全身麻酔で手術を受けられる方は、あらかじめ歯科を受診して、できるかぎりお口を清潔にしておくことが大切です。

誤嚥性肺炎



★歯科ががん治療の完遂を助けます★

歯科ががん治療完遂の助けに！

- お口への副作用ができるだけ起きないように、また起きたとしても軽度で済むようにするには、お口の中の細菌を減らし清潔に保つことがいちばんです。
- そのために役立つのが歯科。プロのケアがお口にかかる副作用を抑え、がん治療の完遂を助けます。

がん治療でお口に起こる副作用

- 抗がん剤治療と放射線治療（頭頸部に照射した場合）では、口内炎などの副作用が起こることがよくあります。これらの副作用は非常に苦しく、治療を途中で断念したり、治療の延期を希望される患者さんもいます。

マラソンのように長く困難ながん治療。治療期間を少しでも快適に過ごし、治療を完遂させるには、歯科が大きな助けとなります。